

二〇二四年度

早稲田大学大学院文学研究科

入学試験問題

【修士課程】

一般外国語

日本語

※解答は別紙(縦・横書)

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

あらためて「倫理」とは何でしょうか。確かに安楽死や臓器移植問題に関する「生命倫理」、日本原子力学会が①設けている「日本原子力学会倫理委員会」など、②時折耳にする言葉ではありません。しかし、**A**「その意味はと問われると、一言で言い表すのは容易ではありません。時代とともに、また文化によっても、その意味は変わるでしょう。」

本論では、その意味するところを、「道徳」との違いを手がかりにして明確にしたいと思います。倫理と道徳の違い？同じ意味じゃないの？そう思われるのももつともです。**B**「大辞林で「倫理」を引くと、「人として守るべき道。道徳」とあり、両者がほとんど同じ意味で使われていることが分かります。一般的にも、またアカデミックな議論の場でも、両者の区別は必ずしも徹底されているわけではありません。」

しかし、哲学者や倫理学者のなかには、道徳と倫理のあいだに区別を設ける立場の専門家もいます。もちろん両者のあいだには③力かなる部分もあるのですが、明確に異なる側面もある。本書では、こうした両者を区別する専門家たちの議論を参考にしたいと思います。なぜなら、現代の複雑化した世界において、その区別は**C**「重要になってきているように思えるからです。」

両者の違いを説明するまえに、ひとつエピソードを紹介させてください。それは私にとって、その違いを痛いほど思い知らされた出来事でした。

当時小学校三年生だった息子をつれて、アメリカに④ジュツチョウに行ったときのことです。ハーレーダビッドソンで有名なアメリカ中西部のウィスコンシン州、その中南部に位置するマディソンという湖畔の街で学会が開かれることになっていました。ホテルに到着し、買い物**f**「街を散歩したときのこと。向こうから、四〇代くらいの太った女性がふらふらと揺れながらこちらに近づいてきます。乱れた身なりと手を差し伸べている様子から、⑤物乞いをしようとしていることがすぐに分かりました。私はとっさに息子の手をぐいと引いて、その女性を避けるように通りの反対側に渡ってしまいました。自分ひとりならまだしも、子供もいる状況で、何かよくないことに巻き込まれたら大変だ。その一心でした。」

その直後でした。息子がパニックを起こしたように大泣きをし⑥ハジメたのは。なぜ、お母さんはあの人を助けなかったのか。なぜ、かわいそうな人にあんな⑦仕打ちをするのか。ぼくがもし病気になったり障害を持ったりしたら、みんなに冷たくされるのか。あの人は、すごく悲しそうな声で、「ソーリー」と言っていたじゃないか。あの声がぼくの心に残って離れない。とても悲しい。苦しい。そして、息子は何度もこう繰り返したのです。「この気持ちは一生残っちゃうと思う。お母さん、何とかして。」

私は懸命に説明を試みました。世の中には困っている人がたくさんいて、すべての人に施し物をすることはできない。その代わりに「税金」という制度があつて、その「みんなからちよつとずつ集めたお金」を使って、困っている人を助ける仕組みになっている。それに、あの人にお金をあげたとしても、お酒を買ってしまったらして、あの人のために**X**。

D「私の説明は息子にはひとつもときませんでした。結局、ホテルに帰っても一時間くらい大声で泣き続けることになりました。」

「困っている人がいたら助けましょう」。これが小学生の頭の中にある行動規範です。なぜなら学校の授業でそう習ってきたし、そうすべきだと自分でも心がけてきたからです。世界は、困っている人が当然のように助けられる場所だと思っていた。

それなのに、その絶対的なルールを、一番身近な大人である母親が目の前でやぶったのです。パニックになるのも無理はありません。

もちろん、私も「困っている人は助けるべきだ」ということは理解していた**E**です。けれども、あの状況でそれに従うことはできなかったし、従うのが⑧サイゼンではないかもしれないということ、つまりこの規範がそれほど絶対的ではないということも、いつの間にか知っていました。「困っている人は助けるべきだ」は「タタマエ」であつて、「**Y**」は別にある。そんなふうに考えていました。

要するに、**Z**私と息子は、道徳と倫理のあいだで引き裂かれていたのです。小学校の道徳の授業で習うような、「〇〇しなさい」という絶対的で普遍的な規則。これに対し倫理は、現実の具体的な状況で人がどう振る舞うかに関わります。相手が⑨何者か分らず、自分の身を守る必要もあり、時間やお金の余裕が無限にあるわけではない今・この状況で、どう振る舞うことがよいのか。あるいは少しでもマシなのか。倫理が関わるのはこういった領域です。

哲学者のアラン・バディウは、その名も『倫理』という本のなかでこう述べています。「倫理を抽象的範疇（人間、権利、他者……）に結びつけるのではなく、むしろさまざまな状況へ差し戻すことにしよう」。そしてバディウは言います。倫理に「一般」などというものはない、と。なぜなら状況が個別的であるのに加えて、判断をする人も、それぞれに異なる社会的、身体的、文化的、宗教的条件のなかに生きており、その個別の視点から**h**「自分の行動を決められないからです。『倫理』『一般』などない」とすれば、それは倫理『一般』で自己を武装せねばならない抽象的な主体などないからだ」。

哲学や倫理学のような学問の領域に限らず、社会生活のさまざまな場面で、私たちはものごとを一般化して、抽象化して捉えて

しまい i です。「人間」「身体」「他者」という言葉。ほんとうは、そんなものは存在しません。それぞれの人間は違うし、それぞれの身体は違うし、それぞれの他者は違ってきます。

けれどもついついその差異を無視して「人間一般」「身体一般」「他者一般」について語り、何かの問題を扱った j 気になつてしまう。もちろん、道徳が提示する普遍的な視点を持つことも重要です。そうでなければ、人は過剰に状況依存的になつてしまい、その場まかせの行動をすることになってしまうでしょう。けれども、「一般」として指し示されているものは、あくまで実在しない「仮説」であることを、忘れてはなりません。なぜなら「一般」が通用しなくなるような事態が確実に存在するからです。そして、倫理的に考えると、 E このズレを⑩キョウレツに意識することから始まるのです。

(伊藤亜紗の文章による)

問一 傍線部①②⑤⑦⑨の漢字の読みを平仮名で解答欄に書きなさい。

問二 傍線部③④⑥⑧⑩の片仮名の部分を漢字で解答欄に書きなさい。漢字は現在の日本語で用いられている標準的な字体によって、楷書体で丁寧に書くこと。

問三 空欄 A E に入る最も適切な語を、次のア～オの中から選び、その記号を解答欄に書きなさい。(同じ記号を二度以上使わないこと。)

ア 実際 イ まさに ウ ますます エ 案の定 オ いざ

問四 空欄 f j に入る最も適切な語を、次のア～オの中から選び、その記号を解答欄に書きなさい。(同じ記号を二度以上使わないこと。)

ア しか イ ような ウ がてら エ つもり オ がち

問五 空欄 X に入る適切な表現を、次のア～オの語句を並べ替えて完成させ、その記号の順序を解答欄に書きなさい。ただし、ア～オのうち活用するものは終止形に直してある。

ア かも イ なる ウ しれない エ よ オ ない

問六 空欄 Y に入る最も適切な語を、片仮名三文字で解答欄に書きなさい。

問七 本文の内容に一致するものを次のア～オの中から一つ選び、その記号を解答欄に書きなさい。

ア 辞書によると、「道徳」と「倫理」の違いは明確にされており、アカデミックな議論の場でも区別することがないため、この文章の筆者は独自の定義による両者の区別を説明している。

イ 筆者がアメリカのマディソンで開かれる学会に行った際、帯同した息子が街の人に「ソーリー」と話しかけたが、誰からも冷たく対応されてしまったため、息子は心に一生残る傷を負った。

ウ 筆者の息子は、学校の授業で習ったように、世界は困っている人が当然のように助けられる場所だと思っていたが、現在の税金の制度はそうになっていないと母親から知らされて、大泣きした。

エ 哲学者のアラン・バディウは、人々が生きるさまざまな社会的、身体的、文化的、宗教的条件を抽象化して、多くの人に共通する一般的な考えを見いだすことが、倫理学の役割だと主張している。

オ 筆者は、物事を一般化する普遍的な視点の重要性を認識しつつも、一般化は現実にとって仮説であることに留意すべきだと考えており、倫理は一般が通用しない領域に関わると述べている。

問八 傍線部Z「私と息子は、道徳と倫理のあいだで引き裂かれていた」とは、具体的にどのようなことを指しているのか。本文の内容に即して一五〇字以上二〇〇字以内で説明しなさい。その際、「息子」「私」「道徳」「倫理」の四語を必ず用いること。

漢字氏名がない場合は、ひらがなで記入すること。

日本語

總 局

1 / 2

問八

[illegible]

——これより先の余白には絶対に記入しないこと——